

東京湾沿岸（久里浜港）で見られる生き物

5 久里浜港

自然環境の特徴

平作川の河口部にあたり、野比側の海岸は整備されていますが、浦賀側の海岸は人の立ち入りが少なく比較的広い草地が残されていることが特徴です。冬場は、特に多くの水鳥が見られます。

植物

草地性の植物が見られ、多種の昆虫等の生息・繁殖の場となっています。春になるとハマヒルガオが一面に咲きます。

コウボウムギ



ハマダイコン



ハマヒルガオ



ハマボウフウ



昆虫

市内では生息箇所が限られるオオハサミムシが見られます。砂浜の背後にある草地では、ショウリョウバッタやササキリなどバッタの仲間や、モンシロチョウやヤマトシジミなどのチョウ類が見られます。（一方、燈明堂周辺で多く見られたハネカクシはあまり見られません。）

スナゴミムシダマシの一種



オオハサミムシ



ホシササキリ



モンシロチョウ



水生生物

平作川河口部にあたるため、多くの汽水性の生物が見られます。河口部にかかる開国橋の上から、目視でクサフグの群れ、クロダイ、ボラなどが確認できます。

クサフグ



クロダイ



シロスジフジツボ

